## 子ども教育学科 専門教育科目

## 【カリキュラムマップ作成方法】

科目の到達目標を達成した際、学生に身につけて欲しい資質・能力に「◎」「●」を付けてください。

- 1) 「◎」は、科目を履修した際、必ず身につけて欲しい資質・能力、1項目に付ける。
- 2) 「●」は、科目を履修した際、身につけて欲しい資質・能力、4項目以内に付ける。

日本語画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画画										DP1 (1)	DP1 (2)	DP2 (1)	DP2 (2)	DP3 (1)	DP3 (2)	DP3 (3)	DP3 (4)	DP3 (5)
# 변화	区分	授業科目	単位	履修区分	1年次	2年	F次	3年次	4年次	専門知識	多文化・異文化理解	問題解決力					生涯学習力	自己管理力
					前 後	前	後	前 後	前。後	発達に修うない。 ・技理と にを踏まにいる。 ・大理と を踏まにいる。 ・大学に果いでもいる。 ・大学に果いでもいる。 ・大理と ・大理と ・大学のはいる。 ・大学のはいる。 ・大理と ・大理と ・大学のはいる。 ・大学のないる。 ・大学のはいる。 ・大学のないる。 ・大学のはいる。 ・大学のは、 ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学のな ・大学の ・大学のな ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大	どがおかれた状況や社 会的背景を深く理解 し、子どもが持続可能 な社会で健康に育つた めのケアや学びを支え	く社会や自然環境、健 康などの状況を深く理 解し、そこに発生する 課題を自ら的確に把握 し、協働して解決する	獲得した知識や技能を 基盤として、必要な情報を的確に収集し、数 理的・論理的に判断す	が健康で、情操豊かに 育ち、次代を担ってい くことができるように	もを取り巻く状況や支 援を改善していくため に、高い専門性を有 し、中核的な役割を果	教育機関などを取り を専動しませる を専動します。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	会の中で、そこに存在 する価値観や文化の違 いを、社会や環境の持 続性を包摂した視点で 捉え、その解決に向け	とした人間発達の専門 家として、常に自己研 鑚に努め、自らの可能
解析課題 2 0 2 2 0 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	入門	子どもの発達と現代社会	2	0	2			-		•	•		•	0		•		
教育の研学 2 ○ 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		教育原理	2	0	2					•	•	•					0	
		保育原理	2	0	2			-		0	•							
発達の理学   2		教育心理学	2	0	2					0	•	•	•					•
母語の理学日 2 日 2 日 2 日 0 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1		教育と社会	2					2		•		•	•			•	0	
平水心理学日 2 日 2 日 2 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	D)										•	•	•					
子どもの理解とと関助 子どもの企業業 子どもの企業業 名の企業を必要     2     1     1     0		発達心理学I	2		2					0	•	•	•					
		発達心理学Ⅱ	2			2				0	•	•			•			•
		子どもの理解と援助	1			1		1		0	•	•		•	•			
子どもの解析と安全 1 1 2 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		子ども家庭支援の心理学	2			2				0	•	•		•		•		
### ### #### ########################		子どもの食と栄養	2			2				0	•	•	•					
現民保育日 2 日 2 日 2 日 1 日 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		子どもの保健	2			2				0	•	•		•		•		
現民発育		子どもの健康と安全	1				1			0	•	•	•	•				
社会的策選目 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2		乳児保育 I	2				2	-		0	•	•						
社会的養護Ⅱ 1		乳児保育Ⅱ	1					1			0	•				•		
存若児保育 2   1   2   0   0   0   0   0   0   0   0   0		社会的養護 I	2			2		1			0				•	•	•	
臨床心理学 2 2 2 2 3 4 2 2 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4		社会的養護Ⅱ	1					1		•				0	•	•	•	
分児理解   2		障害児保育	2					2		0	•	•		•		•		
教育相談   2   2   2   2   3   2   3   3   3   3		臨床心理学	2			2						0	•	•		•	•	
B   子どもと地域   2   ②   2   ②   ●		幼児理解	2					2		0	•	•		•		•		
子ども支援地域活動   1		教育相談	2					2										
子ども支援地域活動Ⅱ   1   <	₽.	子どもと地域	2	0	2							•		0	•	•		
子どもと手作り遊び   2   2   ○   ● <t< td=""><td></td><td>子ども支援地域活動 I</td><td>1</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>i</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>•</td><td>•</td><td>•</td><td></td></t<>		子ども支援地域活動 I	1		1			i						0	•	•	•	
子育て家庭支援論   2   0   ●		子ども支援地域活動Ⅱ	1			1	l	-						0	•	•	•	
子ども家庭支援論   2   2   ●			2			2					•	0				•	•	•
子ども家庭福祉   2   2   0   ●		子育て家庭支援論	2		T i			2			0	•				•		
社会福祉   2   2   1 <td></td> <td>子ども家庭支援論</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>•</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td></td> <td></td>		子ども家庭支援論	2					2			0	•				•		
子育で支援   1 </td <td></td> <td>子ども家庭福祉</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td></td> <td>0</td> <td>•</td> <td></td>		子ども家庭福祉	2				2				•			•		0	•	
子育で支援   1 </td <td></td> <td>社会福祉</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td>•</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td>0</td> <td></td>		社会福祉	2		2						•	•				•	0	
園芸療法実習 2 2 ●			1				1				•			•	•	0	•	
生涯学習概論 2 0 0   子どもと自然 2 0 2   子どもの野外レクリエーション 2 2 0   ESD・環境教育論 2 2 0		園芸療法論	2				2			•	•	•	•	0				
C A C S C S C S C S C S C S C S C S C S		園芸療法実習	2					2						0	•	•	•	•
子どもの野外レクリエーション 2   2   2   ●     ESD・環境教育論   2   2   ●		生涯学習概論	2						2	•				•	•		0	•
E S D · 環境教育論 2	۲	子どもと自然	2	0	2					•	•	0			•	•		
20 2 NO 20 N		子どもの野外レクリエーション	> 2			2				•		0	•		•	•		
E S D · 環境教育演習 2		ESD・環境教育論	2		-			2		•	•	0	•	•				
		ESD・環境教育演習	2						2	•		0			•	•	•	

												的思考、数量スキル	任、倫理観	ダーシップ	スキル		自己管理力
				前 後	前 後	发 自	前 後	前。後	保育・教育の 発達に関する 実践 という を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	現代の子ともや家族などがおかれた状況や社会的背景を深く理解し、子どもが持続可能な社会で健康に育った。	康などの状況を深く理	獲得した知識や技能を 基盤として、必要な情報を的確に収集し、数 理的・論理的に判断す	人々とともに、子ども が健康で、情操豊かに 育ち、次代を担ってい くことができるように	地域社会の中で、子どもを取り巻く状況や支援を改善していくた有 に、高い専門性を有し、中核的な役割を用した。 たすことができる能力	教育機関などを取り替 く制度や多様な価値観 を尊重し、コミュニ ケーションを円滑に進 め、社会の中で協働し	会の中で、そこに存在する価値観や文化の違いを、社会や環境の持続性を包摂した視点で	とした人間発達の専門家として、常に自己研 でいる。 では、常に自己研 でいる。 でいる。 では、おいる。 に努め、自らの可能 はたされる。
[	学校ビオトープ	2						2	•		0			•	•		•
[	自然と昆虫	2						2	0		•						
	子どもと園芸	2			2				0		•			•	•		•
	環境問題演習	2				6	2		•		0	•	•				•
	自然緑地計画論	2					2			0	•	•				•	
保	保育者論	2		2					•				•	0			
1 [	教職概論	2		2							•		•	•	0		
	保育·教育課程論	2		2					0		•	•				•	
	保育の計画と評価	2		2					0		•	•				•	
	教育課程論	2			2	2			0		•	•				•	
	保育の方法と技術	2				4	2						0		•		
	教育の方法と技術(ICT活用を含む)	2			2				0		•	•		•			•
	幼児と健康	1		1					0	•			•		•	•	
	幼児と人間関係	1			1				0	•			•		•	•	
	幼児と環境	1			1				0	•	•			•		•	
	幼児と言葉	1			1				0	•	•				•	•	
	幼児と音楽表現	1			1	1			0	•			•		•	•	
	幼児と造形表現	1			1					0	•		•	•			•
	保育内容総論	2			2				0	•	•		•				
	保育内容指導法 (環境)	2			2	2			0		•			•		•	
	保育内容指導法 (健康)	2			2				0	•			•		•	•	
1	保育内容指導法(言葉)	2			2	2			0	•	•		•			•	
1	保育内容指導法(音楽表現)	2				2	2		0	•			•		•	•	
	保育内容指導法(造形表現)	2			2	_				0	•		•	•			•
1	保育内容指導法(人間関係)	2			2	2			0	•			•		•	•	
	ピアノ実技 I (基礎)	2		2					0			•			•	•	•
	ピアノ実技Ⅱ(応用)	2			2	2			0	•		•			•		•
1 L	ピアノ実技Ⅲ(実践)	2				2	2		0	•				•	•		•
	器楽合奏・音楽療法演習	1					1		0	•		•		•	•		
	図画工作演習	1				:	1		•	•	0			•		•	
1 L	幼児体育	2		2					0	•	•			•			
1	国語	2			2	_			0		•	•			•		
1	社会	2			2	_			•		0	•	•		•		
1	算数	2			2	2			0		•	•		•	•		
1	理科	2	$\vdash$		2	_		$\vdash$	0		•	•		•	•		
1	生活	2	$\vdash$		2	_		$\vdash$	0		•	•		•			
-	家庭	2			2	2	_	lacksquare	0		•	•		•			
1 -	音楽	2	-	2	-	+	-	┝	0	•	•	•				•	
-	図画工作	2	$\vdash$	2		+	-	<del>                                     </del>	0	<del>                  _     _     _</del>	•	•		•		•	
-	体育	2	-		2	+	0	┝	0	•	•			•			
<b> </b>	英語 教科教会社 (図話)	2	$\vdash$	- 1	<b> </b>	. 1	2		0	1		<del>                _     _     _</del>					
<b> </b>	教科教育法(国語)	2	$\vdash$		1 2	4	0		0	1	•	•		•		•	
1 -	教科教育法(社会) 教科教育法(算数)	2	$\vdash$	-	<del>   </del>	_	2	<del>                                     </del>	© ©		•	•	•	•	•		

区分	授	業科	· 目	単位	履修区分		次 :	2年次	3年初	t 4	1年次	専門知識	多文化・異文化理解	問題解決力	情報リテラシー、論理 的思考、数量スキル	市民としての社会的責 任、倫理観	チームワーク、リー ダーシップ	コミュニケーション・ スキル	生涯学習力	自己管理力
						前	後言	前 後	前後	後 前	有 後	保育・教育する、主要を表現である。 保育・教育する、実子とも、 ・教育する、実子とも、 ・教育する、実子とも、 ・変族や適切を対して、 ・変をのできる。 ・変援を展開できる。 ・変援を展開できる。 ・変援を展開できる。	現代の子ともや家族などがおかれた状況や社会的背景を深く理解し、子どもが持続可能な社会で健康に育った。	く社会や自然環境、健 康などの状況を深く理 解し、そこに発生する	生い・ 端柱の(こ刊例)	人々とともに、子ども が健康で、情操豊かに 育ち、次代を担ってい くことができるように	もを取り巻く状況や支援を改善していくために、高い専門性を有し、中核的な役割を果	子どもと関などを取り値観などを取り値観などを関などをの価ユニケーシュの中で協働という社会の中で協働を対し、社会の中で協働をある。	まの中で、そこに存住する価値観や文化の違いを、社会や環境の持で続ける。 マスタ	とした人間発達の専門家として、常に自己研鑽にあるの可能
	教科	教育法(	(理科)	2					2	2		•		0	•		•	•		
	教科	教育法(	(生活)	2				2				0	•	•	•		•			
	教科	教育法(	(音楽)	2					2	2		0	•	•			•	•		
	教科教	育法(図	画工作)	2					2			0		•	•		•		•	
	教科	教育法(	(家庭)	2					2	2		0	•	•	•		•			
	教科	教育法(	(体育)	2					2			0	•	•			•			
	教科	教育法(	(英語)	2				2				0	•	•	•		•			
	道徳教	育の理論	iと指導法	2					2									•	0	•
	4	寺別支援教	<b>教育</b>	2			4	2				0		•		•			•	•
	総合的な	学習の時	間の指導法	5 2						2	2	0	•	•			•	•		
		特別活動	i論	2						2	2	0		•	•	•	•			
	生徒	指導・進	路指導	2						2	2			•				0	•	
	+-	ャリア教育	育演習	2					2	2		0		•	•		•	•		
	教職	実践演習	(幼)	2							2		•	0		•	•		•	
	教職	実践演習	(小)	2							2	0		•	•	•	•			
教	保	育実習指	導 I	2					2			•	•	•	0					
	保	育実習指	導Ⅱ	1							l			0		•	•	•		
	保	育実習指	·導 <b>Ⅲ</b>	1						] ]		0					•	•		
	1:	R育実習 I	I A	2					2			•	•	0	•					
	1:	R育実習 1	I B	2					2	2		0	•				•	•	•	
		保育実習	П	2						2	2			•	•	0				
		保育実習	Ш	2						2	2	0					•	•	•	
	観察実習	(小)(事前事	「後指導含む)	1					1			0		•	•	•	•			
	観察実習(	幼)(事前事	後指導含む)	1					1			0	•	•	•	•				
	教育実習	I (小)事	前事後指導	第 1					1			0		•	•	•	•			
	教育実習	I (幼)事	前事後指導	¥ 1					1			0		•	•	•		•		
	教	育実習 I	(小)	4					4	4		0		•	•	•	•			
	教	育実習 I	(幼)	4					4	4		0		•	•	•				•
	教育実習	Ⅱ(小)事	前事後指導	¥ 1							1	0		•	•	•	•			
	教育実習	Ⅱ(幼)事	前事後指導	¥ 1						I	1	0		•	•	•		•		
		育実習Ⅱ		2						I	2	0		•	•	•	•			
L	教	育実習Ⅱ	(幼)	2							2	0		•	•	•				•
文経	特別	別支援教育	育総論	2			2			I		•	0		•		•		•	
	障	害児教育	入門	2		2						0	•			•	•	•		
	知的障害	児の心理・	生理・病理	2				2				0	•	•	•	•				
	知的障害	別の心理	と発達支援	2					2			0	•	•	•					
			・生理・病理	2				2				0	•	•	•			•		
			生理・病理	2				2				0	•	•	•			•		
		支援教育		2					2	2		0		•	•	•			•	
		的障害児		2			4	2				0	•	•	•	•				
		下自由児塾		2					2			0	•	•	•			•		
		弱児教育		2					2			0	•	•	•			•		
		支援教育		2					2	2		•		•	0	•			•	
	視覚	能障害教育	育総論	1				1				0	•	•	•				•	

区分	授業科	· 目	単位	履修 区分	1年次	2年次	3年	次	4年次	専門知識	多文化・異文化理解	問題解決力	情報リテラシー、論理 的思考、数量スキル	市民としての社会的責 任、倫理観	チームワーク、リー ダーシップ	コミュニケーション・ スキル	生涯学習力	自己管理力
					前 後	前後	前	後	前 後	保育・教育のおいた。 保育・教育の名実践では、教育を名実践を修改を、表別でので、教育をので、教育をので、教育をので、教育を、教育を、教育を、教育を、教育を、教育を、教育を、教育を、教育を、教育を	現代の子どもや家族などがおかれた状況や社会的背景を深く理解し、子どもが持続可能な社会で健康に育つためのケアや学びを支えることができる能力	子どもの育ちを取り巻 く社会や自然環境、 原などの状況を深くする 解し、そこに発生で担握 を自ら的確に把握 し、協働して解決する 能力	獲得した知識や技能を 基盤として、必要な情 報を的確に収集し、数 理的・論理的に判断す ることができる能力	同僚や保護者・地域の 人々とともに、子ども が健康で、情操豊かに 育ち、次代をきるに くことができるる能力 連携・協働できる能力	援を改善していくため に、高い専門性を有 し、中核的な役割を果	子どもと家族、保育・巻く制度を取りを持ちている。 教育機関などなな価点に を専立し、シートのでは、 を専立しまの中のでは、 か、社会の中のでは構築 が、ないトワークを構築 が、ないトワークを構築 する能力	多様化、複雑化する社 会の中で、後述化する社 する価値観や文化の違う いをを包摂した視点で に変える機能力 にて活動できる能力	「食・緑・人」を基盤 とした人間発達の専門 家とした人間第に自己研 鎖に努め、自らの可能 雙に答め、続けられる能 カ
	聴覚障害教育	育総論	1			1				0	•	•	•			•		
	重複障害児教	育総論	1					1		0	•	•	•			•		
	LD · ADHD	等教育総論	1				1			0	•	•	•				•	
	自閉症児等教	育総論	1				1			0	•	•	•				•	
	教育実習(特支)事	事前事後指導	1						1	•		•	•			•	0	
	教育実習(特	寺支)	2						2	0			•		•	•	•	
	子ども教育入	門ゼミ	2	0	2						•	•	0		•			•
	子ども教育プ	゚レゼミ	2	0		2					•	•	0		•			•
	子ども教育専門	門ゼミ I	2	0			2			•	•	•	0		_		_	•
	子ども教育専門	門ゼミⅡ	2	0					2	•	•		0		•			•
	卒業研究	Ť	4	0					4	•	•	•	0					•

単位合計

注1 必修科目,選択科目から修得した単位の合計が96単位以上なければならない。